

平成16年4月21日

各 位

会社名 東ソー株式会社  
代表者名 取締役社長 土屋 隆  
(コード番号 4042 東証第1部)  
問合せ先 広報室長 池田 悦哉  
(TEL 03-5427-5103)

## 塩ビモノマー(VCM) 年産148万トン体制確立と 中国における塩ビ樹脂(PVC) 新プラント建設について

東ソーは、南陽事業所で年産40万トン(60万トン含み)の第三VCMプラント第一期工事を行うことを決定、完成後は南陽事業所のVCM生産能力は年産123万トンとなり、四日市事業所(年産25万トン)と併せ会社全体で年産148万トンとアジア最大級のVCM生産体制が確立することになります。本工事は本年5月着工、2005年秋に完工する予定で、投資金額は約150億円。

また東ソーは、中国におけるPVC事業の新たな展開を図るため、このたび中国広州市南沙経済開発区に、日本側100%出資によるPVC製造・販売の子会社「東曹(広州)化工有限公司」のプロジェクト申請を行うことを決定しました。新プラントは年産11万トン、本工事は2006年夏に完工する予定で、投資金額は約40億円。

今回増設するVCMについては、中国・広州市のPVC新工場建設や今後のフィリピンのPRII(フィリピン・レジンス・インダストリーズ)の増設計画など、グループ内PVC増設プラントへの原料VCMの全量供給を図るとともに、中国、東南アジア等のPVC増強計画進展に伴うVCM需要の伸びに対応した外販を実施することとしています。

東ソーは、南陽、四日市の両事業所を中心とする自家発電、港湾設備といった強力なインフラのもと、電解(苛性ソーダ・塩素)～塩化ビニルモノマー(VCM)～塩化ビニル樹脂(PVC)～塩ビ加工へとつながる「ビニル・チェーン事業」と、南陽事業所に隣接する関係会社の日本ポリウレタン工業の「イソシアネート事業」の関連強化による「ビニル・イソシアネート・チェーン」事業の新たな構築に向けて、今後もより積極的な事業展開を図っていきます。

以 上